

妊娠している人

「実際には、どのように手助けをすれば良いのか」 判らない方も多いかと思しますのでよくあるシーン別の接し方を、いくつかご紹介します。

妊娠している人

妊娠している人にとって、立ったままの姿勢でいるのは大変つらいものがあります。電車やバスの中で立っている妊婦をみかけたら、ひと声かけて席を譲りましょう。

赤ちゃん連れの人

赤ちゃんを抱いていると手がふさがっているため、荷物を運ぶのが難しかったり、またベビーカーを押していると段差のあるところの行き来が難しくなったりします。困った様子を見かけたら、ひと声掛けて手助けしましょう。

子供

小さい子供は、身体や知識が発達途中にあるため、危険に対する対応がうまくできなかったり、利用したい設備に手が届かないなど、大人を基準にして作られているまちの中では、不便なところがたくさんあります。

子供だけでは危険

危険な場所で小さな子供だけで見かけたら、ひと声掛けて安全な方に導きましょう。

身体の差

販売機や手洗い、押しボタンなどで手が届かず困っているの見かけたら、ひと声かけて手助けしましょう。